

わかやまスポーツ伝承館

～スポーツの感動・躍動を伝える情報発信基地～

わかやまスポーツ伝承館は、和歌山県の委託を受け平成22年6月に実行委員会組織として立ち上げられ、平成27年「紀の国わかやま国体・大会」に向けて、県民のスポーツに対する機運向上、さらに和歌山市の中心市街地活性化に寄与することを目的として結成されました。

オープニングに向けスタッフ会議を重ね、橋本市出身の日本人女性初の金メダリスト前畑秀子さんや世界選手権・アジア大会等で活躍されたアスリートの功績を称える展示を行うことは勿論であるが、全国にない展示場を目指すことを確認した結果、体験型展示場として、「本物にふれる」をキャッチフレーズにし、種々の企画案を出し合い、以下の企画を実現しました。

甲子園球場から寄贈いただいたダッグアウトベンチを、日本高等学校野球連盟承認のもと、県内高等学校長の了解を得て、全国初で和歌山県内の高校野球ユニフォームを試着し、写真撮影ができるコーナーを設置。

オリンピックメダリストの了解の上、毎週土・日に本物のオリンピックメダルにふれられるイベント「本物にふれる」を開催。

アスリート本人が使用していた、用具にふれ、ユニフォームが試着できる体験。

また、(公社)和歌山県体育協会の協力のもと、各競技の魅力を紹介、競技者の展示や、競技のプチ体験など、「スポーツ団体協力展」を開催。さらに、文字でスポーツの感動を伝えようと、毛筆で書かれたスポーツに通じる文字を小学生対象に募集し、展示を行う「スポーツ書道展」も毎年開催しております。

「本物にふれる」コーナーをそのまま持ち出し、地域のイベントなどの会場に出張展示に出向き、多くの方にメダルにふれていただき、感動のお声も聞いておりますし、ラジオ体操活動、スポーツセミナー等、健康増進にも力を注いでおります。

平成27年に開催された「紀の国わかやま国体・大会」で来県された行政機関・スポーツ団体役員・選手団の方々からも、地元にこのような展示場を作りたいとの高評価もいただいております。

わかやまスポーツ伝承館がオープンしてから、年間30,000人から35,000人の来館者があり、他府県からの来館者も徐々に増えてきています。

これからも、常設展示は勿論のこと各種企画展示を考案し、実現していきたいと思っておりますので、今後ともご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。